

■公有施設の戦略的利活用の調査

【総務費】（新規） 45万円  
（企画政策部 総合戦略課）

遊休化している公有施設を「ものづくりの場」や「文化交流拠点」として積極的に利活用するために、建物の現況把握や改修などの調査・研究を行います。

■観光の魅力づくりの推進

【商工費】（継続） 1,000万円  
（商工観光部 観光振興課）

観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、豊富な観光資源を活かした個性ある観光地づくりを進め、観光の魅力づくりに寄与する事業を支援します。

昨年から引き続き、久美浜町湊地域の街路灯整備と網野町浜詰地域の温泉源補強を予定しています。このほかにも地域の計画や要望を検討して必要な支援をしていきます。



昨年度整備された久美浜町湊地域の街路灯

6 京丹後ブランドの販売戦略

京丹後のブランド産品を紹介します

■京丹後ブランドチャレンジショップの開設（常設）

【商工費】（新規） 1,600万円  
（商工観光部 丹後の魅力総合振興課）

京都市内に、京丹後市の情報を発信する拠点施設を初めて常設し、観光協会や商工会などと連携しながら、観光PRや京丹後ブランド品の紹介、販売促進などを推進する取り組みを支援します。

のえもんうまい  
もん店を出店  
都市右京区で「丹後  
駆けて、三月には京  
拠点施設の開設に先



■京丹後ブランド品販売促進の支援

【商工費】（新規） 298万円  
（商工観光部 丹後の魅力総合振興課）

都市部における物産展やイベントなどで、丹後の魅力ある地場産品を広く紹介し、販売を促進するための移動販売車の購入を支援し

ます。



他地域で使用されている移動販売車

■地場産品見本市開催事業補助金

【商工費】（継続） 130万円  
（商工観光部 丹後の魅力総合振興課）

丹後地域の事業者の伝統技術と創意工夫により生み出された、魅力あふれる優良な地場産品を一堂に展示する見本市の開催を支援します。市民のみなさんにPRするとともに、商談の機会を提供することにより、販路拡大と販売促進、地産地消とブランド化に努め、地場産業の活性化を図ります。



昨年開催した地場産品見本市

■丹後ブランド発信事業

【商工費】（継続） 262万円  
（商工観光部 丹後の魅力総合振興課）

（財）丹後地域地場産業振興センターが実施している通信販売事業と、これまで市が行ってきたインターネット通信販売店「京の丹後屋」の成果などを融合して、新たな情報発信サイトを構築し、京丹後の魅力を広く情報発信します。



インターネット上の通信販売店

Ⅱ 暮らしの中でのいのちが輝く

環境循環都市

1 自然環境の保全と創造

環境保全の計画的推進のために

■環境基本計画の策定

【衛生費】（新規） 760万円  
（生活環境部 環境推進課）

環境保全の取り組みを総合的かつ計画的に推進するために、環境基本計画を策定します。今年度は市域の自然環境やその課題などの現状把握をするとともに、市民のみなさんにアンケート調査などを行います。  
（平成19年度～平成20年度）

ブナ林保全の大切さをアピールします

■内山ブナ林の保全活用事業

【衛生費】（新規） 257万円  
（生活環境部 環境推進課）

内山ブナ林保全の大切さをアピールするために、観察会やシンポジウムなどを開催するとともに、平成14年3月に丹後上世屋内山京都府自然環境保全地域に指定されたことを顕彰するため、記念碑を建立します。



内山ブナ林

2 新しいエネルギーの導入と活用

自然エネルギーを活用します

■小型風力発電機の普及促進

【衛生費】（継続） 160万円  
（生活環境部 環境推進課）

地球温暖化防止対策に有効な自然エネルギーの普及策として、小型風力発電機の設置に対する補助金を交付します。

家屋や庭、駐車場などに設置できますので、設置を希望されるかたや風力発電に関心があるかたはお気軽にご相談ください。

17年度と18年度の2年間で20台を超える小型風力発電機が設置されています。



市民のかたが設置された小型風力発電機

3 ごみ・廃棄物対策

市民のみなさんのニーズにお応えします

■市指定不燃ごみ袋の作成

【衛生費】（継続） 120万円  
（生活環境部 環境推進課）

市民のみなさんからの要望にお応えし、不燃ごみについては、当面の間、市内全域でコンテナでも、市指定の不燃ごみ袋でも収集に出していただけます。

環境に配慮した市指定不燃ごみ袋



市指定の不燃ごみ袋は、市民局窓口で販売していますのでご利用ください。（市指定の不燃ごみ袋は、環境に配慮した生分解性プラスチックを原料としています）

4 循環型社会の構築

生ごみの活用に向けた研究をします

■未利用資源生ごみ利活用実証研究

【衛生費】（継続） 190万円  
（生活環境部 環境推進課）

市内で発生する「生ごみ」は可燃ごみとして処理されていますが、バイオガス発電や堆肥などの原料として活用できる可能性があります。未利用資源である「生ごみ」の活用方法について研究します。



バイオガス発電施設

Ⅲ 生きる喜びを共有できる

健やか安心都市

1 市民主体の健康づくりの推進

高齢者の生きがいと健康長寿のために

■健康長寿のさとづくりの推進

【衛生費】（新規） 62万円  
（保健福祉部 健康推進課）

高齢者の生きがいと健康長寿をキーワードに、